

# 第130回協会秋季大会報告

去る10月23日に各地指定釣り場にて大阪協会第130回秋季大会が開催されました。今回は各会場より沢山の写真を提供いただきましたのでギャラリーにてお楽しみ下さい。

## 大阪協会秋季大会中紀会場報告

- 1.日時 平成23年10月23日(中潮)
- 2.場所 中紀一帯
- 3.参加申し込み 14クラブ、80名
- 4.概要

当日は、荒天に恵まれたものの、金曜日以来降り続いた雨が前日深夜まで止まず、釣開始時刻になり雨こそ止んだものの、各所で雷鳴が聞こえる中でのスタート。

降り続いた雨は河川の増水や泥流を引き起こし、参加者の多くが目指す各河川の河口周辺の好ポイント(紀ノ川尻、有田川尻、日高川尻など)に大きな影響を与える結果となり、釣果に顕著に現れていた。

例年、秋季大会の中紀会場においては、キチヌの大物がたくさん提出されていたが、今年に限っては河口のポイントが壊滅状態、審査に提出されたキチヌは数匹程度、全体の審査カード提出も20名足らずという結果になった。

そんな中、好調だったのがコロダイとトカゲエソ、ヘダイ。コロダイは50センチオーバーも見られ、トカゲエソは、一人で4~5匹の釣果を得た方もいた。やはり、雨水の影響を受けにくい外海のポイントに入った方に好釣果が多かった。

文責 秋季大会中紀会場審査担当  
北斗サーフキャスティングクラブ

## 下津井会場レポート

渡船を降りると同時に強烈な向かい風、耐えに耐えて竿と仕掛けの準備をしますが、更に追い打ちをかけるような雨まで降ってきました。辛いなーと思っていると、今度は大阪市内では滅多にみることができないような満天の星空に豹変、これで好天に向かうだろうと思ったところが夜明け前にはまたも雨が・・・女心と秋の空とはよく言ったものです。

天候に翻弄された一日でしたが、審査場には数多くの大物が提出されてびっくり！マダイ、クロダイ、コイチ、マゴチ、エソと赤黒がオンパレードの方も...、特に良かったのは笠岡方面で、マダイ、クロダイ、マゴチと大物を一人で十数尾釣った方もいました。大阪協会の会員で笠岡方面に行かれる方は少ないように思いますが、数多くの好ポイントが散在するこの方面は今後の狙い所かもしれません。

レポーター

## 熊野会場レポート

22日の夕刻大阪を出発する前に紀東方面の降雨量をアメダスで確認すると、過去24時間の積算降雨量が150mmを超えており、いくら平素雨の多い地方とはいえ100mmを越えると湾内は水潮気味になるせいか？ダメ押しに日付が変わる頃よりスコール並みの豪雨と雷鳴に見舞われ、目だった釣果には恵まれませんでした。

過日の台風12号の影響で未だ手付かずの大きな流木やら削られた護岸を見ると自然の猛威を思い知りました。しかし、海の中のお魚は逞しくも元気に竿先を震わしてくれました、今後は紀東～南紀方面に出かけ少しでも観光のお手伝いになれば復興のお役に立てるかと思存します。

熊野会場レポート





大物ならおまかせ滋賀投友会です





なにわの三銃士です



